

つくば市平成30年1月定例記者会見 資料一覧

平成30年1月11日（木）

つくば市市長公室広報広聴課

- 1 つくば市空家等対策計画（案）のパブリックコメントの実施について
- 2 平成29年度「つくば市職員災害対応訓練」の実施について
- 3 JICA草の根技術協力事業合意書締結について
- 4 つくばイノベーションスイッチ
自治体のRPA活用推進に向けた共同研究を開始
- 5 講演会：アメリカで住みたい街ナンバーワン！「ポートランド」のまちづくりを
つくばへ！！
- 6 つくば市イベント情報（平成30年1月，2月）

<p>件名</p>	<p>つくば市空き家等対策計画（案）のパブリックコメントの実施について</p>
<p>内容</p>	<p>1 趣旨 近年、空き家等が増加傾向にあり、空き家等の中には、適切な管理が行われていない結果として、安全性の低下、公衆衛生の悪化、景観の阻害等色々な問題を生じさせ、ひいては地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼしているものがある。 このような状況の中で、空き家等の問題の解消に向けた施策を総合的かつ計画的に実施するため、つくば市空き家等対策計画を策定する。 今般、有識者等からなる「つくば市空き家等対策協議会」での審議を経た本計画案について、市民の意見を反映させるためパブリックコメントを実施する。</p> <p>2 意見募集期間 平成30年1月5日（金）～平成30年2月5日（月） [32日間]</p> <p>3 資料の閲覧場所 空き家対策室（市役所3階）、市ホームページ、情報コーナー（市役所1階）、各窓口センター、各地域交流センター</p> <p>4 意見提出方法 上記閲覧場所（情報コーナーを除く）に直接持参（施設閉庁日を除く）、または空き家対策室に郵送、FAX で送付。市ホームページからEメール、または電子申請・届出サービスの入力フォームに必要事項を入力して送信。</p> <p>5 経過 平成29年8月～平成29年11月 つくば市空き家等対策協議会による審議（3回）</p> <p>6 今後の予定 パブリックコメント結果及びそれに基づく修正案を、つくば市空き家等対策協議会及び庁議において報告、審議し、平成30年3月ごろ、上記閲覧場所及び市ホームページで公表する。</p>
<p>効果等</p>	<p>計画の策定により、空き家等の問題解消に向けた施策を総合的かつ計画的に実施し、良好な生活環境の保全と地域の活性化を図ることができる。</p>

件名	平成 29 年度「つくば市職員災害対応訓練」の実施について
内容	<p>1 趣旨</p> <p>災害時においては、迅速な対応が求められることから、地域防災計画の行動マニュアルに基づき、迅速な災害対策本部の立上げと、各部署それぞれの役割や職員間の連携の確認を図ることを目的に、災害対応訓練を行う。</p> <p>2 訓練概要</p> <p>訓練は、「第 1 回災害対策本部の立ち上げ」、「訓練参加職員によるロールプレイング方式による各種対応」、「第 2 回災害対策本部会議の開催」の 3 つのステージで行います。ロールプレイング訓練で使用する災害想定は、訓練内容を充実させるため、訓練当日に発表いたします。</p> <p>3 実施日時・場所</p> <p>平成30年 1 月24日（水）13：00～16：30</p> <p>① 庁議室，</p> <p>② 防災会議室 1・2・3</p> <p>4 訓練の流れ</p> <p>訓練タイムスケジュール（別紙 1）参照。</p> <p>5 訓練参加者</p> <p>① 第 1 回災害対策本部の立ち上げ及び第 2 回災害対策本部の開催に当たっては、本部構成員である市長，副市長，教育長及び各部等の長が出席。</p> <p>② 実際のロールプレイング方式の訓練は、別紙 2 に記載された職員（各部にあっては、各次長を含めた 3 名）の参加。</p> <p>6 今後の予定</p> <p>訓練の結果を踏まえ、地域防災計画の行動マニュアルを見直す。</p>
効果等	各部署の役割や組織間，職員間の連携の確認をとることで、災害時における迅速な対応を図ることにつなげる。

件名	JICA 草の根技術協力事業合意書締結について
内容	<p>1 趣旨</p> <p>つくば市は、JICA、インドネシア共和国ゴロンタロ州農業局及びゴーベルグループ PT.Dharma Karyatama Mulia (DKM 社) と、JICA 草の根技術協力事業において、東京フード(株)と協力して実行する「安心・安全品質でのカカオ加工技術を活かしたボアレモ県の食農物産業の共同振興事業」に関して、インドネシア側と日本側の両者は、事業概要のもと実施することを同意し、合意書を締結した。</p> <p>合意書締結日：2017 年 12 月 15 日</p> <p>合意書締結者：以下 5 者</p> <p>(日本) つくば市、東京フード(株)、JICA インドネシア事務所</p> <p>(インドネシア) ゴロンタロ州農業局、ゴーベルグループ DKM 社</p> <p>2 事業概要</p> <p>事業期間：2018 年 1 月から 2020 年 6 月まで (2 年 6 か月間)</p> <p>対象地域：インドネシア共和国ゴロンタロ州ボアレモ県</p> <p>事業目的：良質なカカオ加工品 (カカオマス等) の生産に必要な知識や技術等に移転することで、出荷品価値を高め、それが高値で販売されることにより現地農家の生計を向上させる。</p> <p>3 主要活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つくば市：日本での研修プログラム及びチョコレート製品の商品化・PR 支援 ・東京フード(株)：インドネシア現地農家へ優れたカカオ豆加工技術を指導 ・JICA インドネシア：事業監督 ・ゴロンタロ州農業局：農業普及員によりカカオ豆の高品質化・収穫量の向上 ・ゴーベルグループ DKM 社：カカオ豆買い取りスキームの確立
効果等	<p>つくばの知財・技術をインドネシアへ移転・活用することで、インドネシアの農家の生計改善につながることや移転した知財・技術がインドネシアから世界へ広がることによる国際協力・貢献への寄与。また、教育・異文化交流の機会及びつくば市の食農産業の発展・振興が期待できる。</p>

<p>件名</p>	<p>つくばイノベーションスイッチ 自治体の R P A 活用推進に向けた共同研究を開始</p>
<p>内容</p>	<p>1 概要 つくば市では、すでに民間では導入が進んでいる先端 ICT 技術がまだ公共サービス分野では導入が進んでいないことに着目し、つくば市の行政フィールドに民間事業者等のもつノウハウ・技術を導入することで、市民サービスの向上や行政課題の解決を図ることを目指した「つくばイノベーションスイッチ」事業を実施している。</p>  <p>第 1 回目の公募案件「R P A を活用した定型的で膨大な業務プロセスの自動化」について、1 月 11 日から N T T データグループ（株式会社 N T T データ、株式会社クニエ、日本電子計算株式会社）との共同研究を開始する。</p> <p>2 共同研究者の選定経緯 10 月 5 日～31 日 公募 2 社から申請 11 月 8 日 共同研究者選定会議 （座長：毛塚副市長、5 名の選定委員） 各社の提案プレゼンテーション・ヒアリングの実施 共同研究者の選定 11 月 13 日 選定結果通知書送付 12 月 8 日 契約（キックオフ会議）</p> <p>3 実施内容 平成 29 年 12 月～平成 30 年 3 月に職員が普段業務で使用しているものと同じ環境のパソコンに R P A をインストールし、動作確認をした後に、実際の業務において利用する。 R P A 導入による職員の稼働時間の削減効果（時間外勤務の削減）やミスの軽減による業務効率化等の改善効果の測定を行う。</p> <p>4 今後の予定 共同研究の効果検証結果を踏まえ、R P A 導入の効果が高いと考えられる業務への展開や本格的な導入に向けた検討を進める。 また、共同研究結果はホームページへ掲載し、同様の課題をもつ自治体等へ発信する。</p>

効果等

すでに金融機関、生命保険会社などでは、本格的な導入が進んでいる状況にあり、ワークフローの見直しによる業務削減や定型業務の自動化による人員配置の適正化（対ひと業務への配置替え）など、成功した事例が多く報道されており、つくば市でも同様の効果が期待される。

【具体的な事例】

日経コンピュータ 9月掲載

・三菱UFJフィナンシャル・グループ

三菱東京UFJ銀行が2014年夏から先行してRPAのパイロット適用を進め、2年ほどの間で、行内の約20種類の業務にRPAを適用し、年間で1万時間の作業を減らす成果を得ている。

9月プレスリリース

・第一生命保険株式会社

全社業務への導入を開始すると発表。

平成28年10月からトライアルを実施しその効果などを検証した結果。

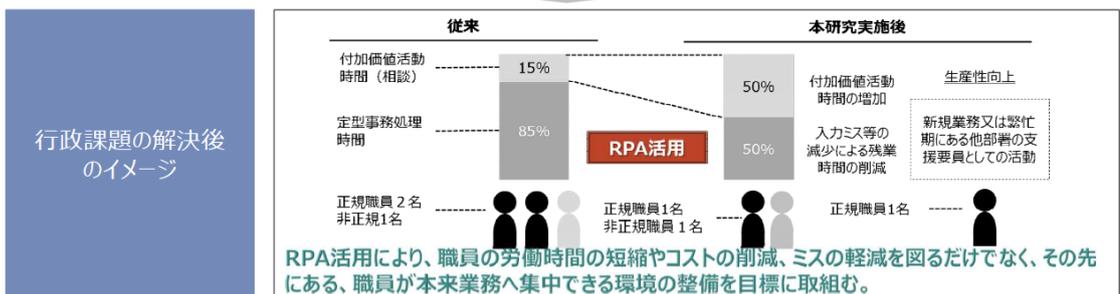
日経コンピュータ 11月掲載

・電通

会計事務の月次処理などで月5,000時間削減

【以下、NTTデータ資料参考】

本共同研究は、行政における「働き方改革」の実現を念頭に、RPAを活用した業務プロセスの見直しによる生産性の向上、RPAの効果的な導入に必要な環境整備（正規職員、非正規職員等の新たな役割分担の検討含む）のほか、具体的な指標を設定して、RPA導入による職員の残業時間の削減効果を算出することを目指す。



イベント等名	講演会：アメリカで住みたい街ナンバーワン！「ポートランド」のまちづくりをつくばへ！！
1 趣旨・目的	つくば市まちづくりアドバイザーである山崎満広氏のポートランドでのまちづくりへの取組や活動について、より多くの市民の皆様 に知っていただくことで、まちづくりへの興味や理解などを深めて いただき、今後更に市民参加を進めていくためのきっかけとする。
2 日時	平成30年 1 月25日（木）18:30～20:00
3 場所	つくば市役所 2 階 会議室201
4 内容	アメリカで住みたい街ナンバーワンにも輝いたことがあり、住民 自治の先駆けネイバーフッドアソシエーションなどで、いま、注目 を浴びる「ポートランド」でのまちづくりへの取り組みについて。
5 対象者等 (対象者・参加予定 者・実績など)	市民及び市職員
6 主催等 (主催・共催・後援 ・協力など)	つくば市
7 特記事項 (改善点・工夫点・ 参加者の特徴など)	